

ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

梅雨と台風が重なり大きな被害が出ました。梅雨明けが待ち遠しいこの頃です。皆様お元気でいらっしゃいますか。PHJ メールニュース 2012 年 6 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 2012 年 6 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. PHJ スタッフが関西学院大学と大阪府看護協会で講師をつとめました
- 1-2. 東日本大震災復興支援一被災病院の再健
- 1-3. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. タイ事務所で働くボランティア
- 2-2. 小児先天性心臓病手術
- 2-3. HOPE パートナー教育・障がい児の支援
- 2-4. ベトナム 乳がん早期発見事業

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 母子保健教育ーテイルタヤサ自治区
- 3-2. 地域医療システム強化ーテイルタヤサ自治区
- 3-3. 栄養改善活動ーテイルタヤサ自治区
- 3-4. 口腔衛生予防教育ーバリ州東バリ地区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 健康な村づくり事業ーコンポントム州
- 4-2. トゥクトゥク利用状況
- 4-3. 助産師トレーニング事業ープレイベン州

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1. PHJ スタッフが関西学院大学と大阪府看護協会で講師を務めました

5月25日 カンボジア担当の石関が関西学院大学 経済学部 大学院で「フィールド調査から学ぶ 開発経済学とカンボジアの現状」で講師となりました。8月に実施されるPHJカンボジア活動地域で

の調査に先立ち、カンボジアの農村における衣・食・住や医療、衛生面について実践的なレクチャーを行いました。http://www.kwansei.ac.jp/s_economics/s_economics_004786.html

6月1日にはタイ担当スタッフが大阪府看護協会でHIV/AIDS予防教育について、PHJタイが実施しているピアリーダーによる教育の講師となりました。特にHIVの感染についてゲームで学ぶ方法は出席者から注目を浴びました。http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52087671.html

1-2. 東日本大震災復興支援—被災病院の再健

PHJが医療機器、什器などの復興支援を提供している気仙沼地区の被災病院の再健とオープニングが相次いでおり、嬉しいニュースと写真を沢山受け取っています。この様子をブログで紹介しております。http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/53664317.html

1-3. スタッフブログ

タイ、カンボジア、インドネシアの様子をスタッフがお知らせしています
http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

.....

2. PHJタイ事務所のニュース

2-1. タイ事務所で働くボランティア

タイ事務所では優秀な学生や専門家がボランティアで働いています。オーストラリア人のケイトさんは5月から1年間オーストラリア政府が国費で専門家を派遣するプログラムで、アメリカ人の医学生ブレドリーさんは6月から2か月間ボランティアを申しでてくれました。二人とも英語でのコミュニケーションや専門分野の資料作りで貢献してくれています。

2-2. 小児先天性心臓病手術

4月には2件の手術を実施し、5月には2名の手術をランパン県立病院ではじめて実施しました。6月には7名の手術を予定しています。

2-3. HOPE パートナー教育・障がい児支援

1998年より2012年5月まで合計218名の子供を支援し、137名が卒業、現在60名のドナーが59名の患者を支援しています。

4月には4病院で合計47家族の定例教育を実施しました。テーマは「血圧」でした。また3名の子供の家庭訪問を実施しました。5月の4病院における定例活動では「重曹を使っての野菜の洗い方」をテーマとし合計30家族が出席。あわせて「アジアのおはなしカレンダー」ようのお絵描きも行いました。6月の定例活動のテーマは「1年間の活動評価」で60家族が参加する予定です。

2-4. ベトナム乳がん早期発見事業

4月には3地区で5回の研修に146名が参加しました。研修前の平均成績69%が研修後92%に向上しました。5月には4地区で6回の研修に178名が参加研修前の平均成績73%が研修後92%に向上しました。6月には5回のトレーニングを実施する予定です。

.....

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 母子保健教育 – テイルタヤサ自治区

5月のテーマは「出産にあたり気を付けること」「新生児の危険信号」。多くの村でへその緒についての質問があったのは、昔からの風習が残っているからで、正しい処理法を根気よく伝えてゆく必要を感じます。今月は133名の妊婦を含む327名が参加しました。

3-2. 地域医療システム強化 – テイルタヤサ自治区

トウンクラック村で建設されていた第5号のポスケステス（診療所）は4月2日に仮オープンし、5月16日に支援企業の代表を迎えて正式にオープンしました。50人以上の人が式典に参加しました。その様子をブログをご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52085326.html

3-3. 栄養改善活動 – テイルタヤサ自治区

2010年4月から味の素 AIN 助成金を受けて実施していた2年間の栄養改善活動は3月で終了し、5月8日に現地で企業の代表に対し報告を行いました。また第1期菜園事業の終了に伴うメニューコンテストの結果発表・表彰式もあわせて実施しました。

5月には3つの村でメニューコンテストのメニューを基に栄養教育、調理実習を行いました。参加者は幼児も含み165名でした。栄養菜園で栽培した野菜が主な材料であるため、参加者の関心がこれまでより高いと感じています。

栄養菜園活動は第2期がスタートし、各村では菜園の規模を拡張しています。乾季に入って雨が降らず、菜園の水やりが課題となっています。特に海に近い村では地下水に強い塩分が含まれているケースが多いのです。菜園活動は間接的に村の活性化に貢献していると認識しています。

スタッフブログで菜園事業の報告をご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52073260.html

3-4. 口腔衛生予防教育 – バリ州東バリ地区

バリで行っている口腔衛生予防教育・第2フェーズでは歯科サービスの向上のために技術研修会を開催しています。今年は5月19日バリ歯科医師会と共催で1日技術講習会・ワークショップを開催しました。講師にはジョグジャカルタのガジャ・マダ大学歯学部歯科医師2名を招き、午前は講義、午後実習を行いました。テーマは小児歯科矯正で午前の部には65名、午後の部には30名が参加しました。

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 健康な村づくり事業 – コンポントム州

6月3日に地方選挙が行われたため、混乱を回避するために一部の活動の実施を調整しました。

保健センター運営改善：2保健センターでスタッフ会議が開催され、PHJスタッフが課題解決等にフィードバックしました。

村人が衛生的な生活を実践：1月にトイレ建設資材の支援を行った4村60世帯全てでトイレが

完成し、定期モニタリングできれいに使っていることを確認しました。多くの世帯でコンクリートの建屋を作っています。

保健教育活動：村での保健教育は5回実施。予防接種がトピックで合計208名が参加しました。前後での確認テストでは村人対象は51点から89点に向上しました。保健ボランティアのファシリテータ技量テストのスコアは83点でした。

村と行政サポートのネットワーク支援：保健センター運営委員、保健ボランティア会議は4保健センターで実施。PHJが育成した母子保健ボランティアがいる2つの保健センターでは出席率は各73%、58%と改善。運営委員、保健ボランティア会議は選挙前のこともあり出席率53%。伝統的産婆の会議は出席率68%で、助産には保健センターを使うことを推奨しています。

4-2. トゥクトゥク利用状況

搬送サービス：3月よりサービス開始したトゥクトゥク2台は5月末までに9回利用されました。5月の利用では、普通分娩1件が保健センターで無事に出産、2件目はすでに進行しているマラリア患者の州病院への移送でしたが残念なことに死亡しました。

4-3. 助産師トレーニング事業 –ブレイベン

病院実習を終了した8名の保健センター助産師が5月1日から4日まで地元で保健教育を実施しました。これらの助産師は州病院での研修で腕をあげたことも参加者に告知しました。村人588名、1か所あたり73.5名の出席率でした。この州のプレアスダット保健行政区での最終病院実習は2名の助産師向けに5月28日より開始し、6月に終了します。今後は政府の看護師、助産師育成方針を確認し、トレーニング内容についてレビューします。

■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2012年6月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。メールニュースのバックナンバーはPHJホームページでご覧になれます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

#####

発行者：

アジアの母と子を支える

ピープルズ・ホープ・ジャパン

国際保健医療支援団体 認定NPO法人第1号

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2012 ピープルズ・ホープ・ジャパン

#####